

# 一般質問発言通告書

発言順位 4番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和6年 9月 5日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 2番 沈 久美

質問事項1	令和6年三嶋大祭りの振り返りと今後について
具体的内容	今年も3日間にわたる三嶋大祭りの開催がゆるされた。まさに、天から許可されたといえるような奇跡的な天候の運びのおかげさまがあり、有難いと感じるところがある。 コロナ禍を経て、地域の伝統行事に対する誇りや永劫継続への望みは全国的に高まっており、三嶋大祭りについても同様と考える。しかしその一方で、温暖化の裏付けとなりうる2年続きの異常酷暑は市民にも観光客にも格別な配慮を強いたのではなかったか。 今後も三嶋大祭りが古式ゆかしく厳かで健やかで楽しく、かつ、三島のさらなる発展に寄与しつづいていくために、以下を伺う。
	1 三嶋大祭りについて、祭りとしての特徴、および今年の総括を伺う。 ・祭りの発祥、これまでの発展経緯、地域性など、この祭りの意義・特徴 ・今年の天候・集客数・参加人数・救急搬送事例数等といった客観的データ 及び新たな取り組みと成果、市民の声、課題等をふまえた今年の総括
	2 「三島の祭りは3日間のうち1日は必ず雨」についての見解
	3 三嶋大祭りの近未来像として日程や期間等の変更について検討されたことはあるか。
	4 元来、三嶋大社の例祭は旧暦で行われていたことに加え、全国でも稀有な暦の館（三嶋暦の館。三嶋暦は太陽太陰暦＝旧暦）を有する地域として、三嶋大祭りの日程に旧暦（月遅れ、土日合わせ、満月実施等を含む）を用いることについてどのように考えるか。
質問事項2	令和7年度から4年間使われる教科書について（主に中学校公民について）
具体的内容	近年の人口減少を若年人口急減社会ととらえる考え方があるなか、国民ひとりひとりの生産性や能力の向上は避けられない課題であるという指摘はもっともであると考え。これは言い換えれば、子どもたちの教育が今後ますます重要になってくるということであり、子どもたちの教育の質に直結するのが教科書ではないだろうか。 改めて、教科書とはどういうものかについて確認し、その内容の一端を共有することで、教育の目標を達成するため私たちにできることは何かを考察し行動するきっかけになればと考え、以下を伺う。
	1 義務教育において教科書とはどういうものか。また、その選び方（採択）は現在どのようになっているか。
	2 令和7年度から中学校で使われる新教科書全般における特徴、および採択結果
	3 三島市（田方地区）が採択した「公民」教科書について (1) 学習指導要領が掲げる公民的分野の目標、および重要項目（3～5つほど） (2) LGBT 関連（新教科書の実際の記述。(3)(4)(5)も同じ） (3) 憲法について (4) 天皇について (5) 自衛隊について (6) 新教科書で目標を達成していくことについての見解